

身心一体科学で120歳まで 元気に生き生きとサイエンスカフェ

主催：日本学術会議、文部科学省

「自分が生きていること」をサイエンスしてみませんか。フロアの皆さまとの双方向コミュニケーションで進行する参加・体験型のカフェです。

日時 平成23年7月8日（金） 18:30~20:30
場所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
講師 跡見 順子（日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授）
ファシリテータ 田原 淳子（日本学術会議連携会員、国士舘大学 教授）
テーマ 「人間」のいのち・細胞を生かす
身心一体科学」

定員 30名（申込み:科学技術週間HP：<http://stw.mext.go.jp/>から）



参加費
無料

アジアの古い文化を昇華させる技をもつ日本から、原発事故などではなく、世界に向けて発信しなければならないことがあります。それは身心一体科学創成。人間とは何かを科学する時代がきました。2倍に伸びた寿命のその後半の半世紀をどう生きるか、それには運動が決定的に重要です。また心を元気にするにも運動が必須です。しかし身体をこわしてしまっは元も子もない。私たちの体の中で生きている「細胞達の身になって」PPK（ピンピンコロリ）戦略を考えます。

